

お客様の「あったらいいな」を超えて、
日常の未来を生みだし続ける。

2023年3月期

決算説明資料

Financial Results for the Fiscal Year Ended March 31, 2023

TODAY'S AGENDA

AGENDA

01

2023年3月期
決算

AGENDA

02

事業別主要計数・
トピックス

AGENDA

03

2024年3月期
業績予想

AGENDA

04

中期経営計画
アップデート

AGENDA

05

APPENDIX

AGENDA

01

2023年3月期決算

2023年3月期 決算のポイント



業績概況

増収・増益
経常収益は過去最高



国内ATM事業

台数は概ね計画どおり、
利用件数は計画比上振れ



金融サービス事業

ローン残高は
前年比+25.1%と
大きく伸長



海外事業

金利上昇等の影響で
米国は引き続き厳しいが、
アジアの拡大が続く

2023年3月期決算

損益状況【連結】

経常収益

単体の上振れに加え、
為替影響を主因に
海外子会社等が伸長したことで増収

経常利益

成長投資の継続や為替影響により
費用増となるも、増益で着地

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

注4) 連結損益の為替レート

1米ドル: 2022年3月期実績 = 109.90円

2023年3月期期初計画 = 114.00円 (期中に131.00円に変更)

2023年3月期実績 = 131.62円

注5) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益 + 減価償却費

経常収益

1,549 億円

前年度
累計 1,366 億円

前年比 +13.3%

計画比 +3.9%

経常費用

1,260 億円

前年度
累計 1,084 億円

前年比 +16.2%

計画比 +4.1%

親会社株主に帰属する当期純利益

188 億円

前年度
累計 208 億円

前年比 ▲9.6%

計画比 ▲3.5%

経常利益

289 億円

前年度
累計 282 億円

前年比 +2.4%

計画比 +3.2%

EBITDA

484 億円

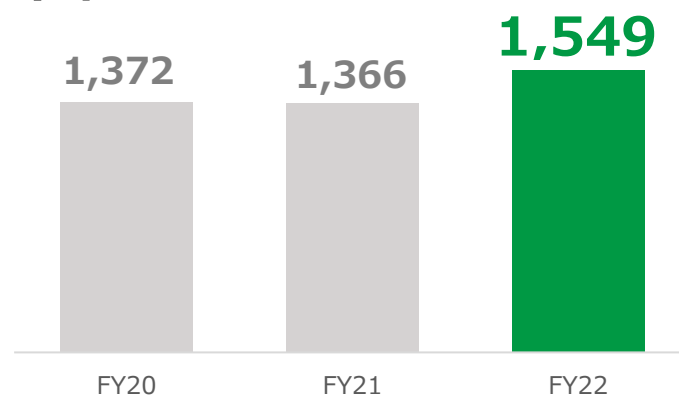
前年度
累計 446 億円

前年比 +8.5%

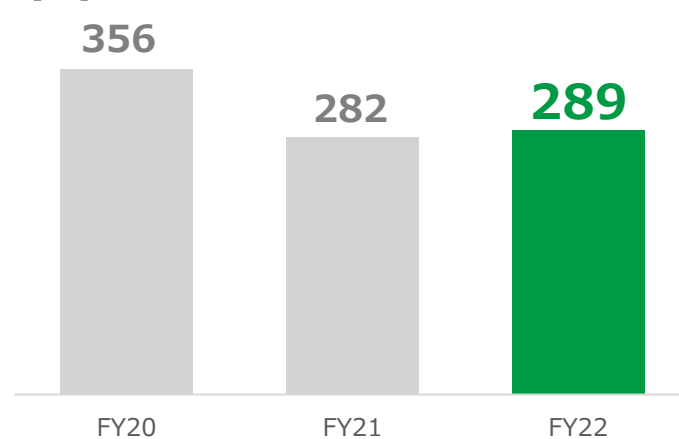
2023年3月期決算
業績推移【連結】

注) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

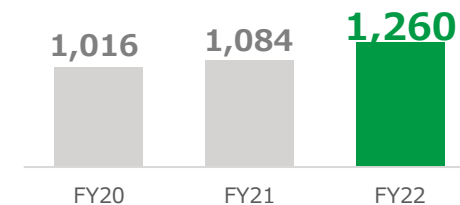
経常収益



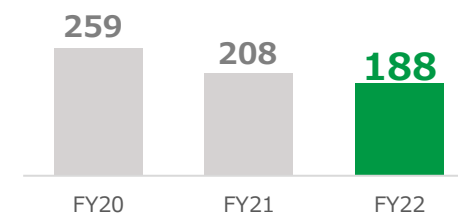
経常利益



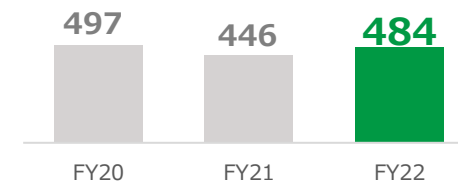
経常費用



親会社株主に帰属する当期純利益



EBITDA



(単位：億円)

2023年3月期決算

損益状況【セブン銀行単体】

経常収益

人流回復により、全業態でATM利用
件数が伸長したことなどから増収、
過去最高の収益額を記録

経常利益

3期ぶりに増益を確保

- 注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較
注4) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

経常収益

1,205 億円

前年度
累計 1,102 億円

前年比 +9.3%

計画比 +3.4%

経常利益

315 億円

前年度
累計 284 億円

前年比 +10.9%

計画比 +14.5%

経常費用

890 億円

前年度
累計 818 億円

前年比 +8.8%

計画比 +0.0%

当期純利益

195 億円

前年度
累計 181 億円

前年比 +7.7%

計画比 +2.6%

EBITDA

483 億円

前年度
累計 433 億円

前年比 +11.5%

計画比 +7.3%

AGENDA

02

事業別主要計数・
トピックス

国内事業(ATM)

国内事業(ATM)

主要計数

ATM利用件数の推移

年度総利用件数

+70百万件

年度平均利用件数

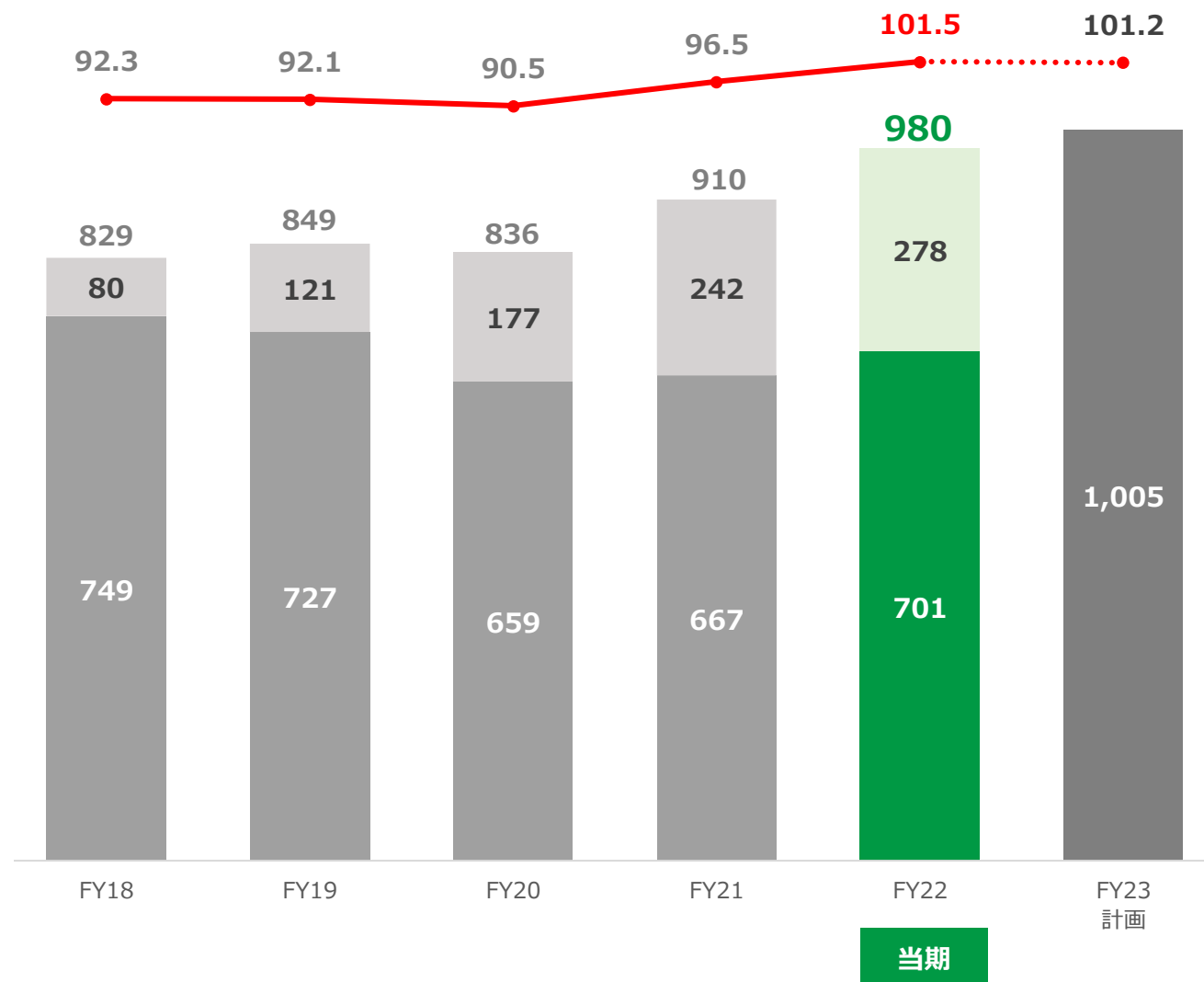
+5.0件

- 注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) ATM総利用件数、平均利用件数には残高照会、
電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更等を含まず
注3) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、
クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、
コード決済事業会社等の合計
注4) FY22のATM受入手数料単価108.3円
※ ATM受入手数料単価は、
 $\text{ATM受入手数料} \div (\text{総利用件数} - \text{ATM受入手数料収入を伴わない利用件数} < \text{売上入金等} >)$ で算出

平均利用件数
(件/日/台)

ノンバンク等
総利用件数
(百万件)

預貯金金融機関
総利用件数
(百万件)



国内事業(ATM)

主要計数

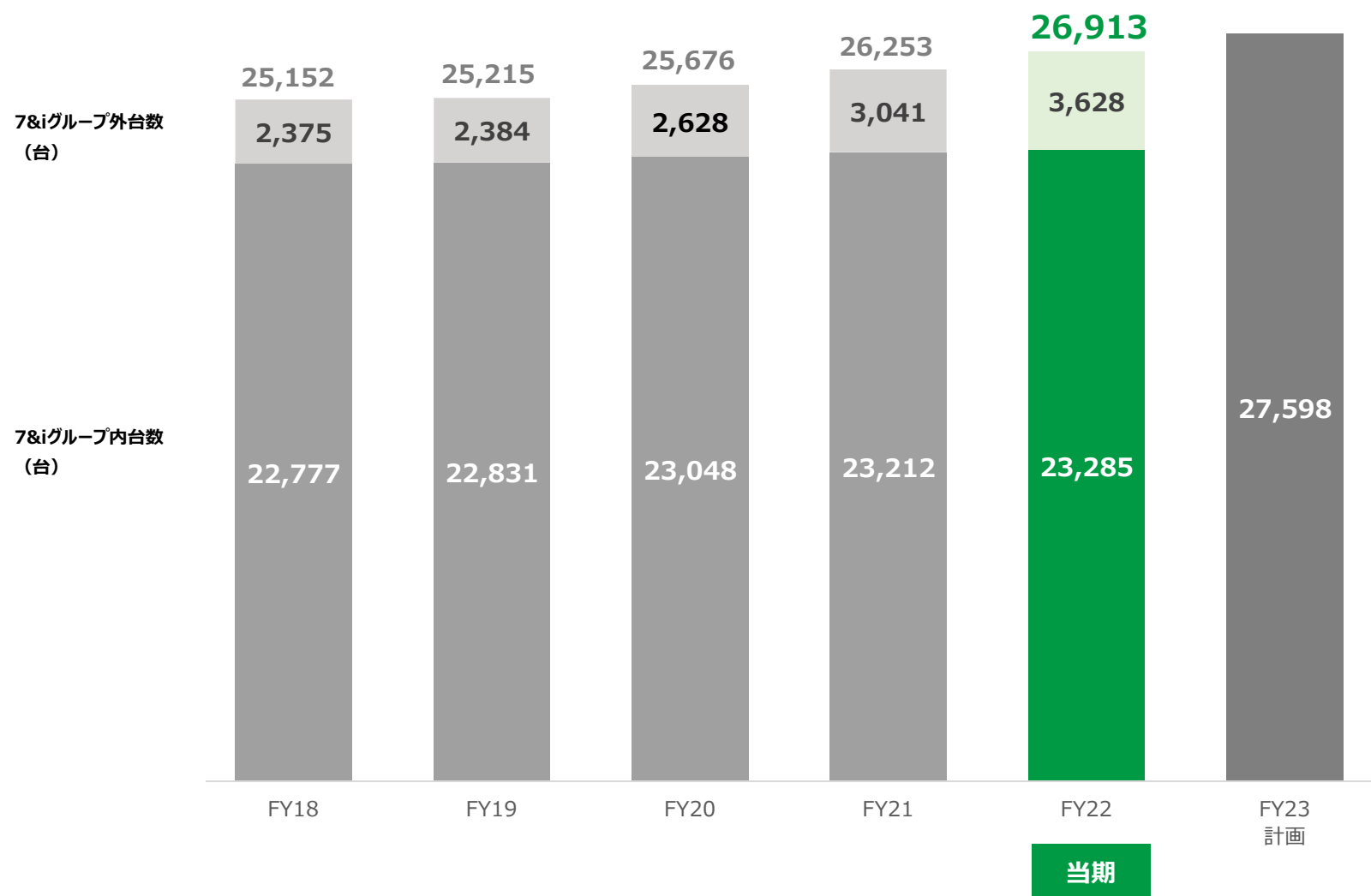
ATM期末台数の推移

ATM期末台数

+ 660台

グループ内 **+73台**

グループ外 **+587台**



注) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

国内事業(ATM)

主要計数

第4世代ATMへの

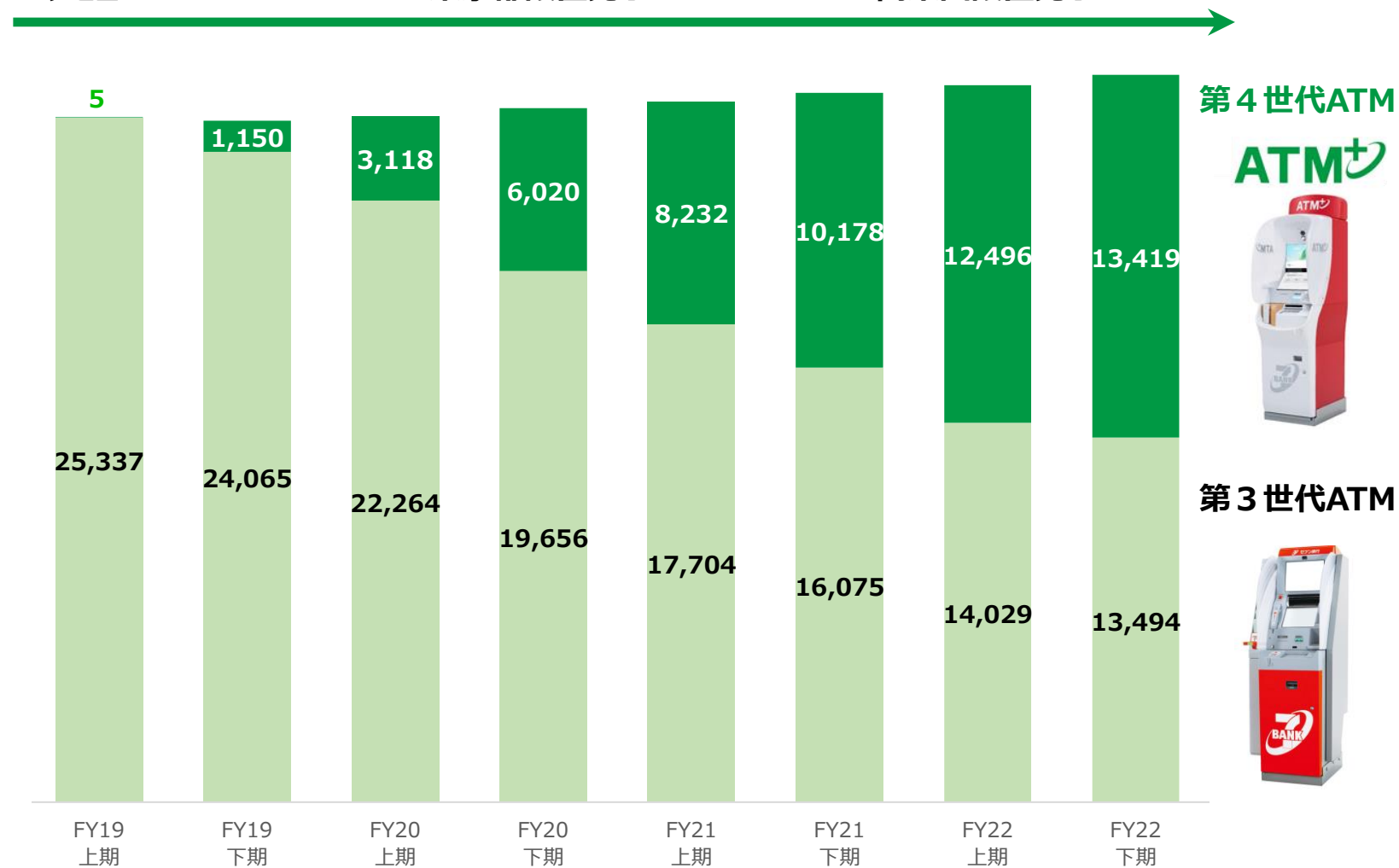
入替状況

入替スピードは徐々に改善傾向、
2023年度は約**6,000台**の
入替を計画

2019年9月
デビュー

2020年11月
東京都設置完了

2022年上期
関東圏設置完了



国内事業(ATM)
トピックス①

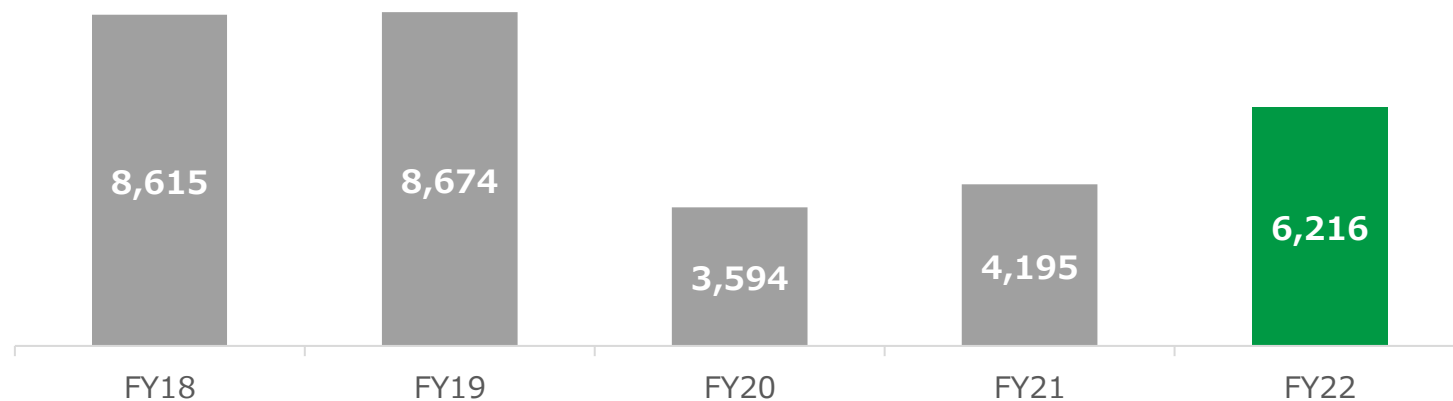
海外カードの利用が引き続き堅調、
足元では**2019年度と同水準**まで
回復

DCCサービス選択率

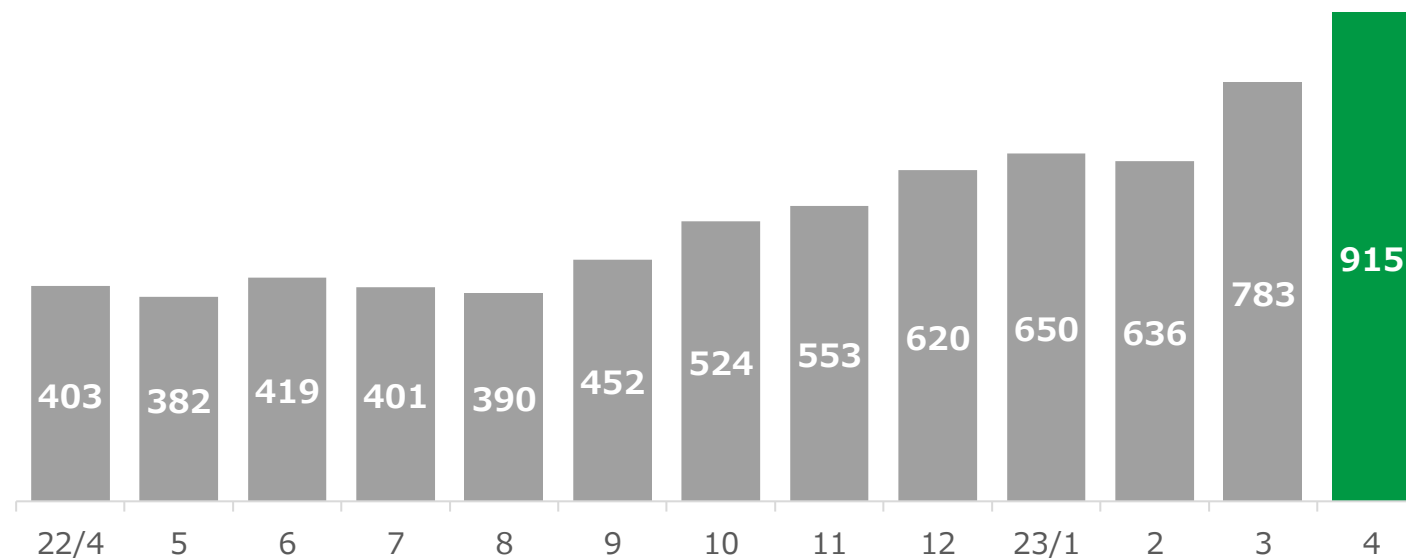
25%

注) DCC:Dynamic Currency Conversion (多通貨決済)

海外カード利用件数 (千件)



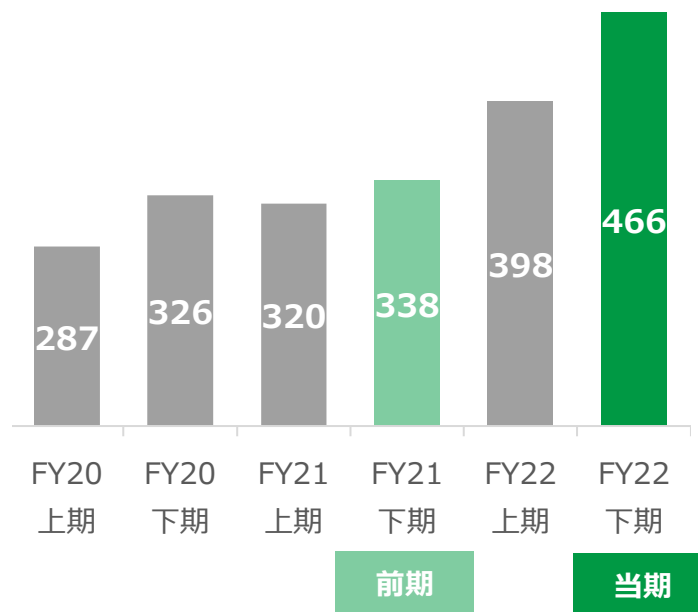
直近13か月間 月毎海外カード利用件数 (千件)



国内事業(ATM)
トピックス②

提携金融機関の店舗内・外への設置等、
共同運営の取り組みは引き続き拡大

共同運営ATM台数： **+128**台



2月より沖縄銀行本支店内に
当社ATMを設置



(出典) 琉球新報 DIGITAL 2023年2月2日版
<https://ryukyushimpo.jp/news/entry-1656585.html>

【直近の主な共同運営】

- **福井銀行** (56台、70台程度まで拡大予定)
- **北陸銀行** (2022年12月～新規設置開始)

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 福井銀行の共同運営台数は2023年3月末時点

国内事業（リテール）

国内事業(リテール)

主要計数

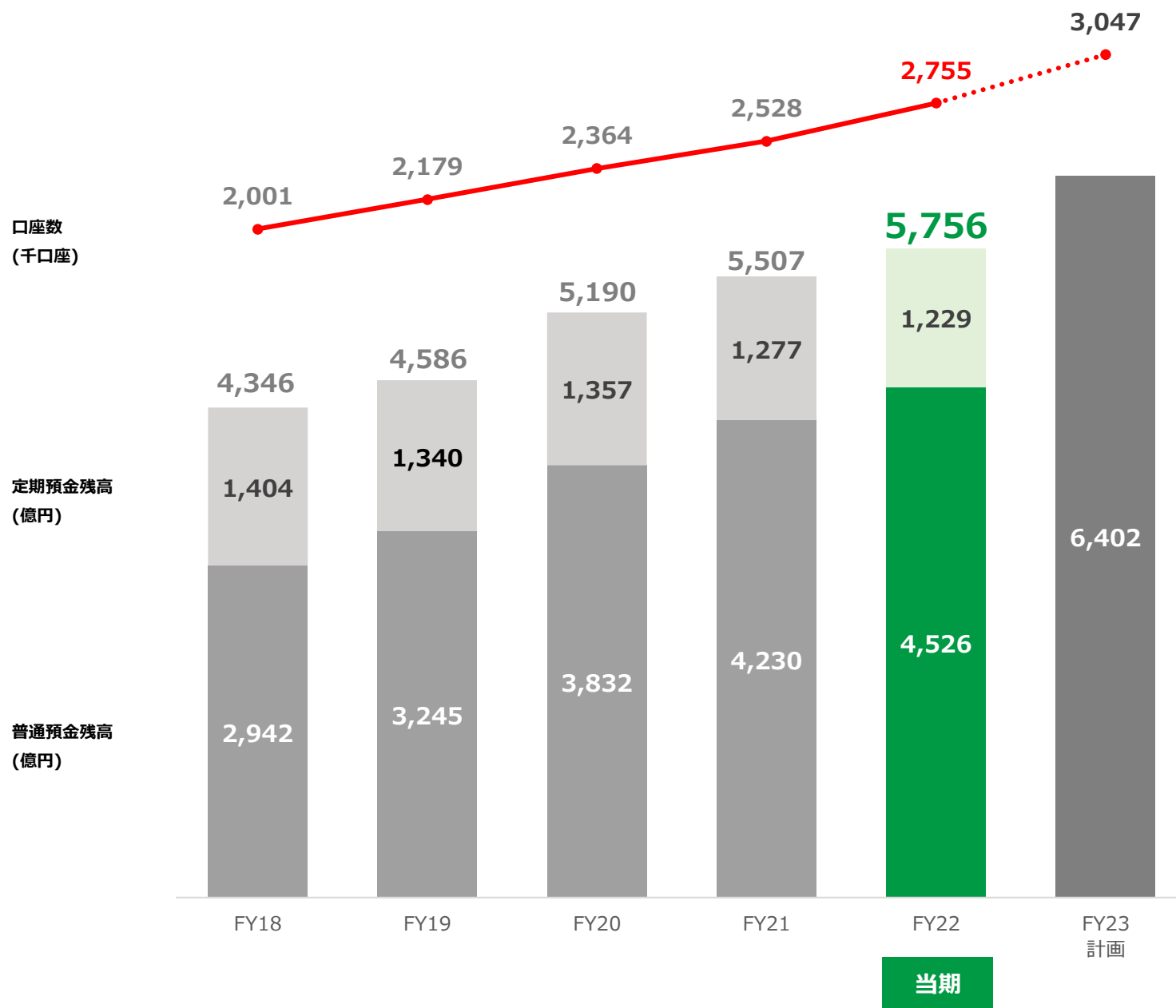
口座数と預金残高の 推移(個人)

口座数

+227千口座

預金残高

+249億円



注) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

国内事業(リテール)
主要計数
セブン銀行
後払いサービス

取扱高

+25億円

取扱件数

+12.7万件



注) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

国内事業(リテール)
主要計数
金融サービス

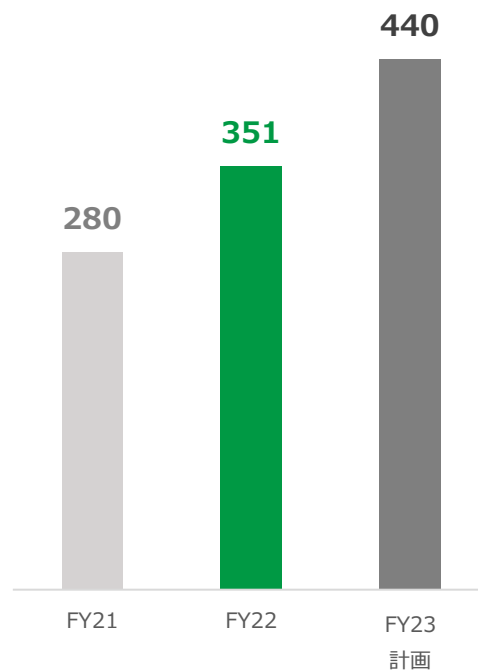
個人向けローンサービス

スマホ取引等で順調な伸長

+71 億円

注) 含Credd Finance提供サービス

期末残高(億円)



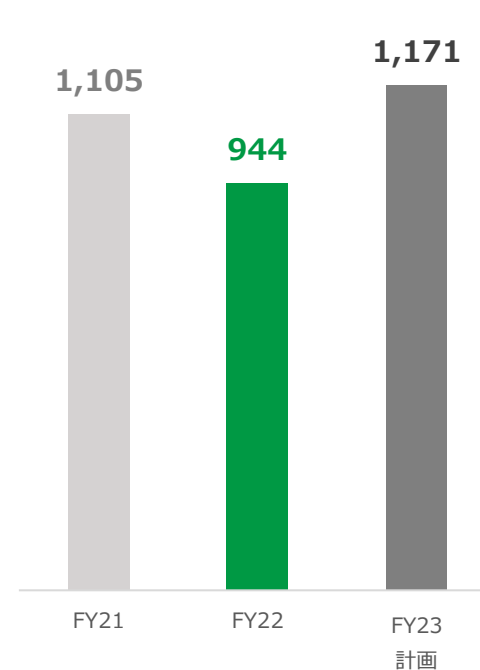
海外送金サービス

通期は減少だが、足元は回復傾向

▲161 千件

注) 含セブン・グローバルレミット提供サービス

取引件数(千件)

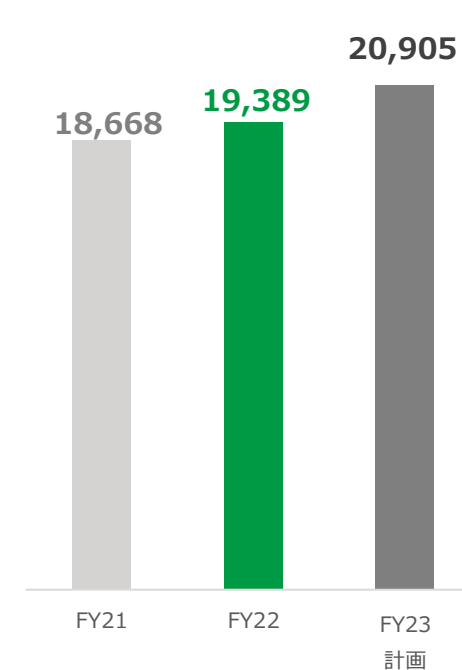


デビットサービス

口座増による取引増

+721 千件

取引件数(千件)



注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
 注2) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

国内事業（子会社）

国内事業（子会社）

主要子会社の業績

〔各社単体・連結調整前〕

(単位：百万円)

	バンク・ ビジネスファクトリー	セブン・ ペイメントサービス	その他
	【事務受託事業】	【送金・決済事業】	【BBF/7PS除く国内子会社】
経常収益	3,162	546	1,095
(前年差)	(+739)	(+99)	(+367)
経常利益	▲142	103	▲813
(前年差)	(▲181)	(▲5)	(▲13)

各社成長期であり**増収**となるも、費用先行等により**減益**

注) 「その他」に含まれる会社は、
セブン・グローバルレミット、ACSION、Credd Finance、
ビバピータメディカルライフ

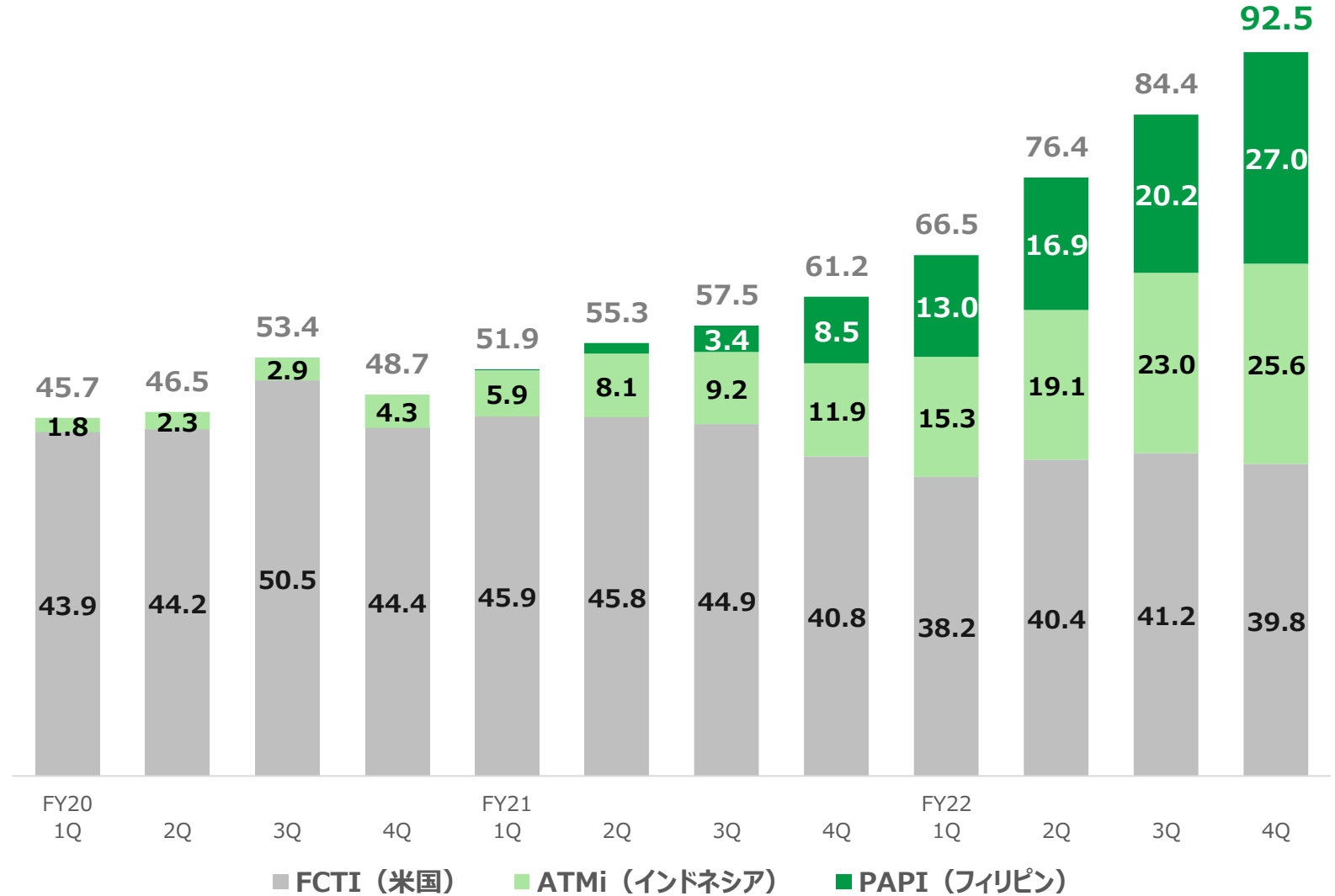
海外事業

海外事業

ATM総利用件数の推移

(単位：百万件)

インドネシア (ATMi) ・
 フィリピン (PAPI) での
 ATM設置拡大が継続、
ATM総利用件数が伸長



注1) 米国、インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む

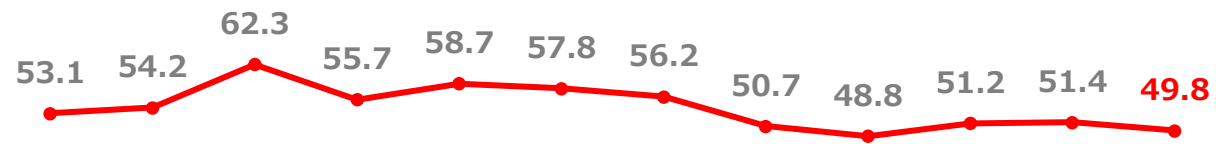
注2) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、
 売上金入金を除く

注3) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
 4Q (10月-12月)

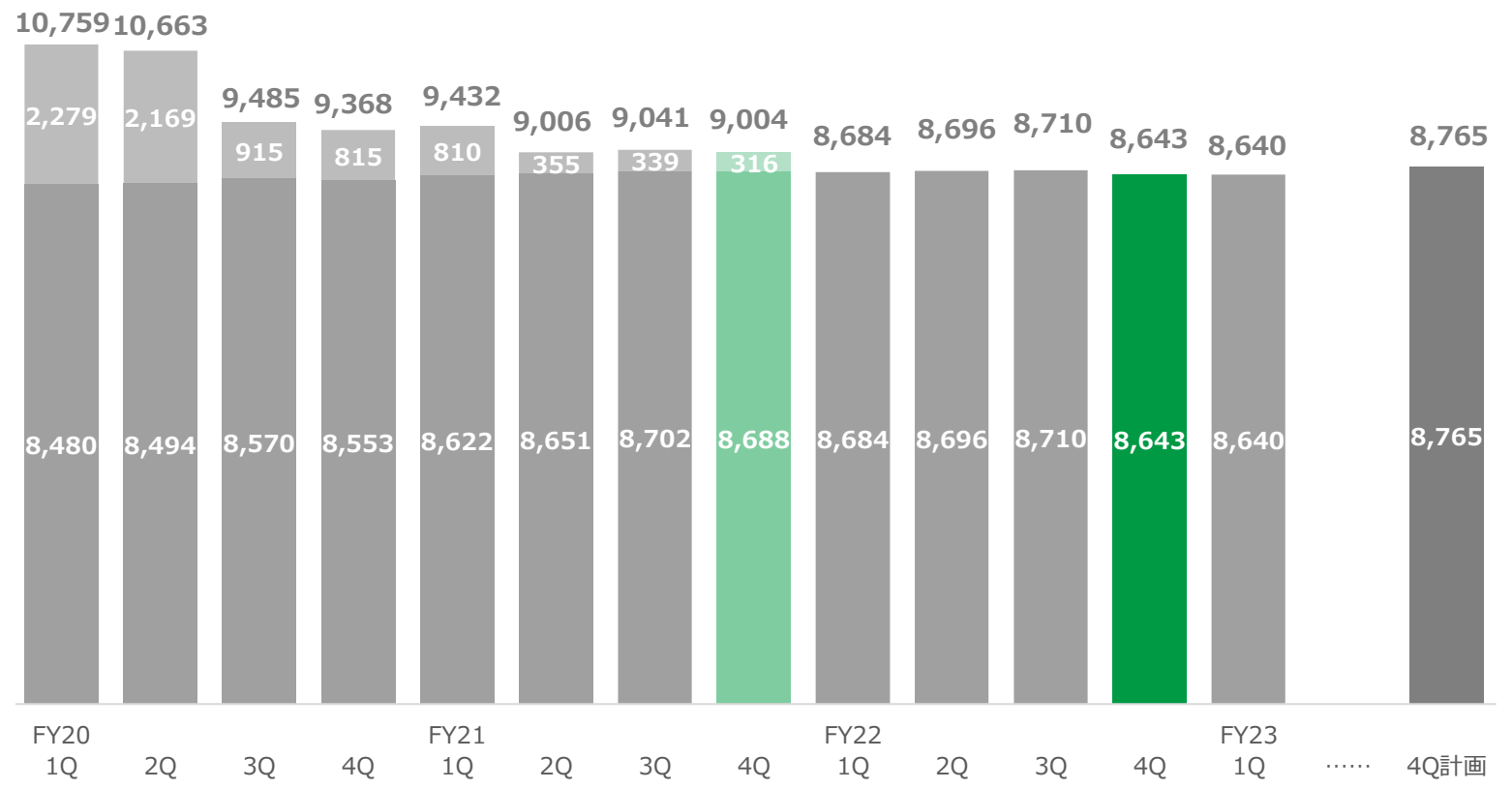
海外事業
米国

足元の状況は厳しいが、
多角化とコスト最適化に
よって利益改善を目指す

SEI店舗内
設置ATM
平均利用件数
(件/日/台)



SEI店舗外
設置ATM
期末台数 (台)



注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む
 注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
 4Q (10月-12月)
 注3) FY23 1Qの数値は速報値

前期 当期

海外事業

インドネシア

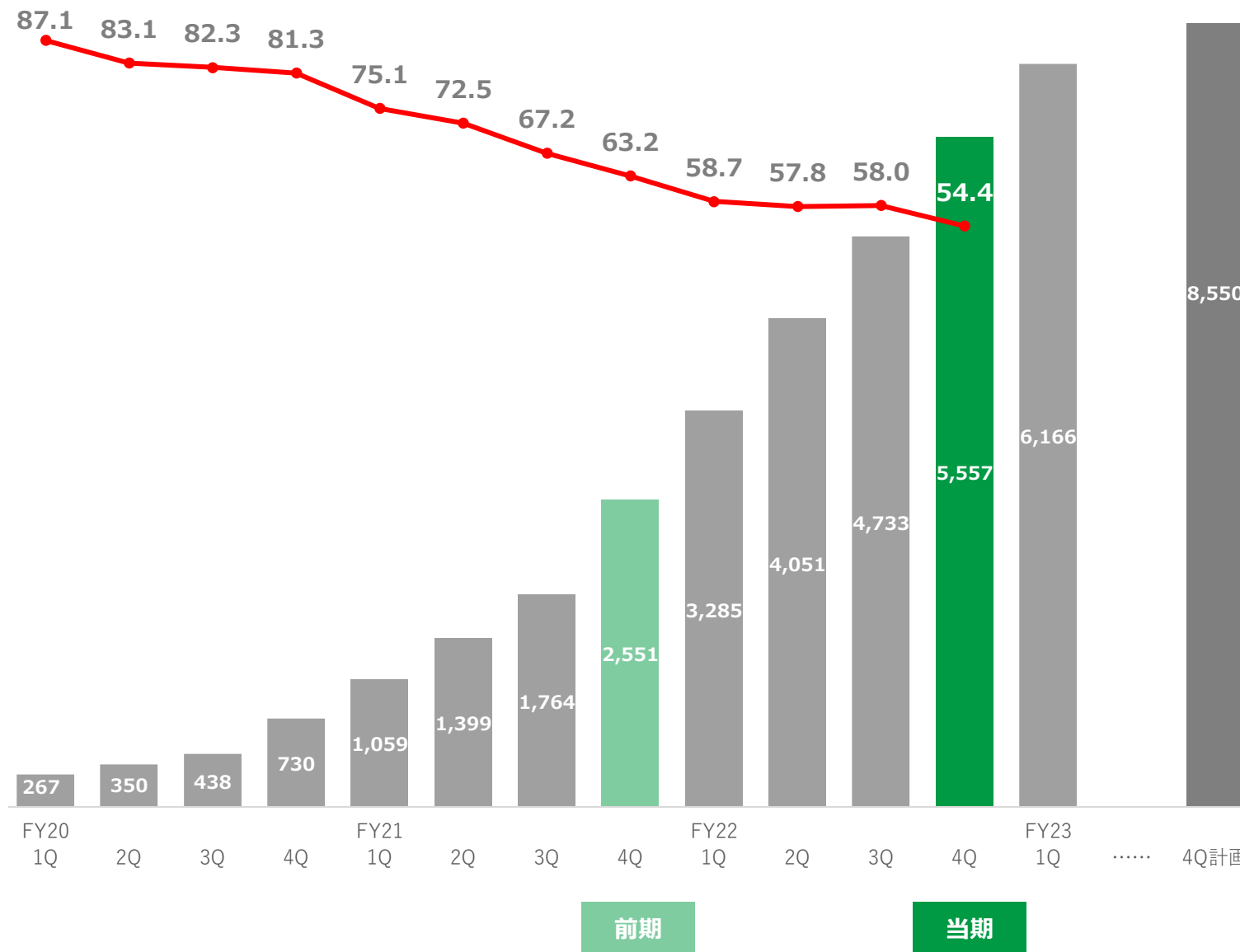
設置台数増により
平均利用件数は減少も、
黒字の範囲内

今後は利用定着と販促により
件数増を目指す

注1) インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む
注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)
注3) FY23 1Qの数値は速報値
注4) 台数の速報値は受託設置を除く

平均利用件数
(件/日/台)

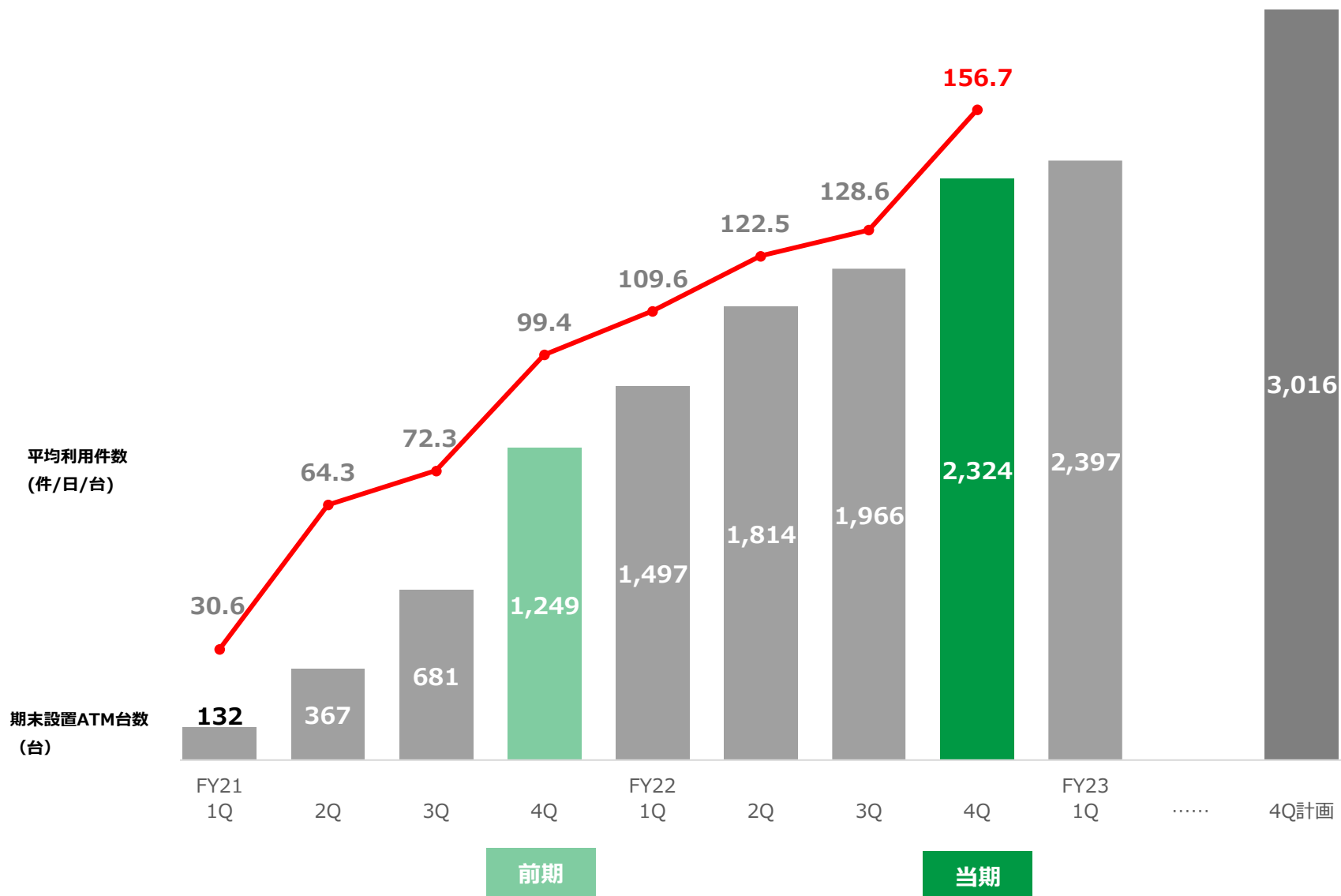
期末設置ATM台数
(台)



海外事業 フィリピン

設置台数の増加および
Landbankとの提携効果が続き、
平均利用件数が増加

2024年度の黒字化を目指す



注1) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、
売上入金を除く

注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)

注3) FY23 1Qの数値は速報値

AGENDA

03

**2024年3月期
業績予想**

業績予想

2024年3月期 通期予想【連結】

経常収益

1,665億円

前年度
累 計 1,549億円 前年比 +7.4%

経常利益

245億円

前年度
累 計 289億円 前年比 ▲15.2%

親会社株主に帰属する 当期純利益

165億円

前年度
累 計 188億円 前年比 ▲12.2%

増収・減益

- ・セブン銀行単体は、ATM利用件数の伸長を主因に増収
- ・子会社は海外を中心に増収
- ・事業基盤整備および成長投資による費用増が継続し、経常利益は減少

セブン・カードサービス連結子会社化後の数値は
第1四半期決算発表時に反映予定

2024年3月期 配当予想

年間計画

11円

配当性向40%を維持

中間配当 1株あたり5.50円
期末配当 1株あたり5.50円

注) 利益の増減は「経常利益」を指す

AGENDA

04

中期経営計画
アップデート

第2の成長の加速に向けて、事業の多角化をさらに推進し、 中期経営計画をアップデート

2021年発表
中期経営計画

「成長戦略」「社会課題解決への貢献」「企業変革」を柱に、第2の成長を具体化させる

成長戦略

- 現金プラットフォームからATM+への進化
- 強みを活かしATMに次ぐ成長領域を拡大（事業の多角化）

国内事業

中核：ATMプラットフォーム戦略
成長：リテール戦略/法人戦略

海外事業

成長：海外戦略

多角化を推進

継続拡大

社会課題解決への貢献

- サステナビリティ推進の基本方針・体制の見直し
- 5つの重点課題への取組みをさらに発展
- 環境課題解決に向けたグループ・委託先との協働

着実に進捗

企業変革（CX）

- 自律型人材が活躍できる組織への変革
- データ利活用、効率化を意識したビジネスモデル・プロセスの変革

今年度大幅に拡大

お客さま・提携先の「あったらいいな」の実現に向けて多角化を推進

7iD連携 

小売×金融一体型の新しいお客さま体験を提供



ATM+

サービスプラットフォーム

行政サービス 医療サービス
認証 チャージ など

あらゆる認証・手続きの窓口

事業者の抱えるお客さま対応・DX・規制対応ニーズに応えるソリューションを提供



リテール

グループ連携+ユニークな金融商品

口座 与信 投資 口座 与信 保険 送金

外国人居住者向け



現金プラットフォーム



7&iの顧客基盤 銀行機能

法人

ATM、事務、セキュリティ等強みを活かした法人サービス

事務受託 認証・セキュリティ 決済機能



セブン・ペイメントサービス

金融サービス(海外)

海外においてもユニークな金融サービスを提供



海外

日本でのATM運営ノウハウを活かしてアジアを中心にATMを展開

アメリカ インドネシア フィリピン



売上金入金(海外)

店舗の現金管理コスト低減に寄与



事業多角化

事業多角化

ATM・サービス深化

事業多角化

成長戦略

あらゆる認証・手続きの窓口

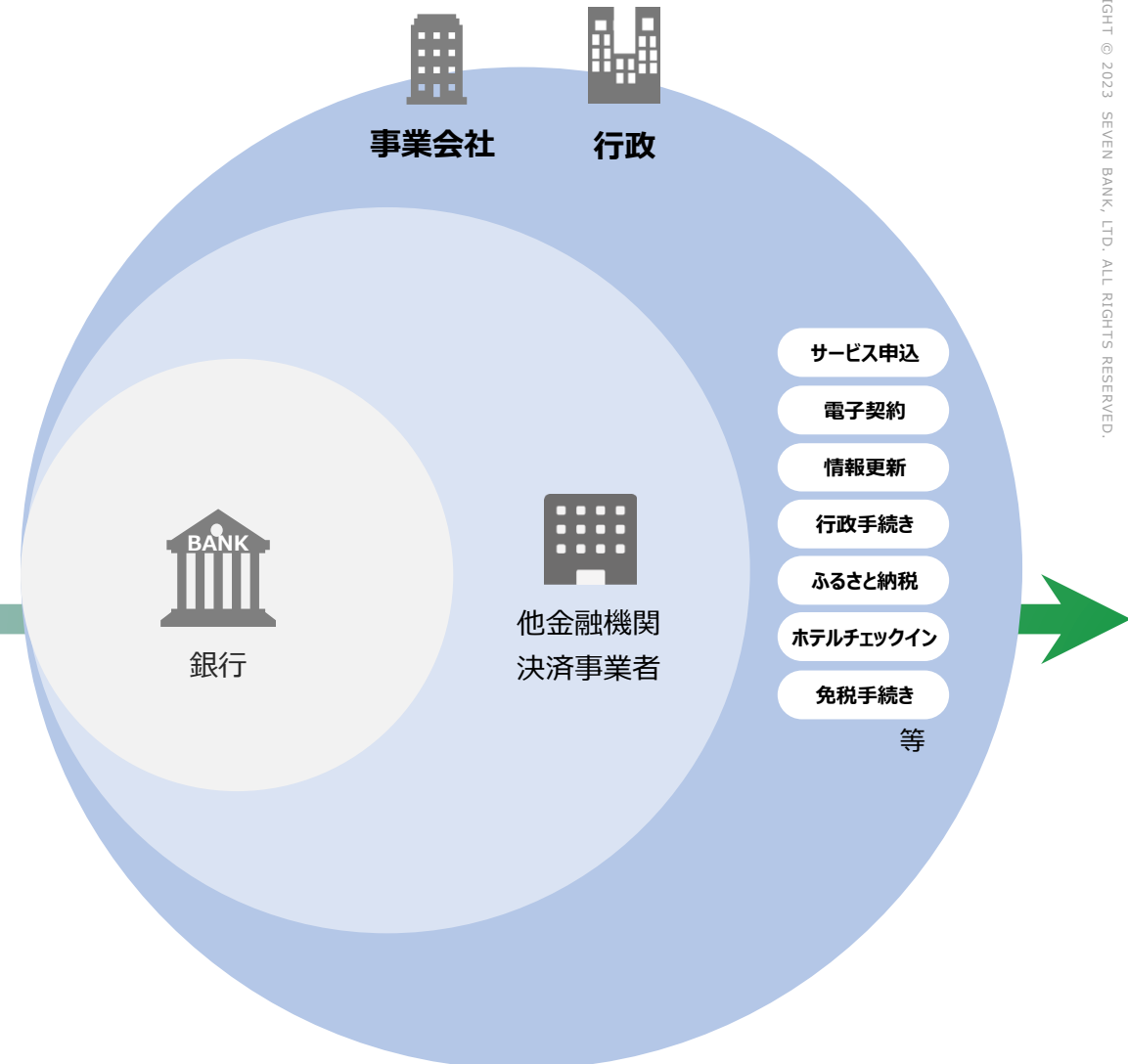
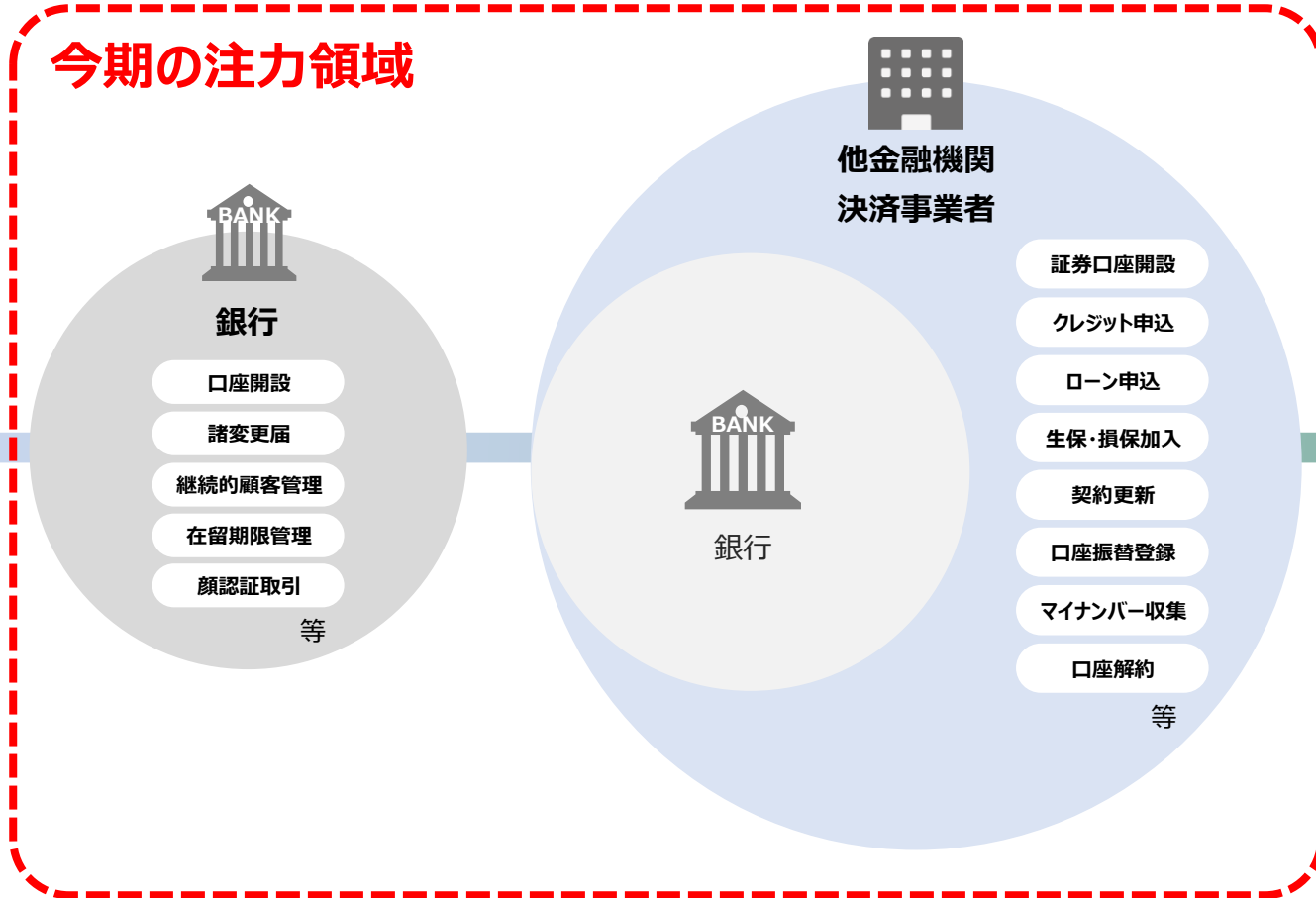
セブン銀行グループの
最大の強みである
広範なATMネットワークを活用し、
銀行向けにあらゆる認証・手続きの
窓口となるサービス提供を
2023年9月より開始予定

お客さまには「近くて、簡単便利、安心安全に、手続きができる窓口チャネル」を、
事業者には「お客さま接点の強化、DX戦略(合理化)を支援するプラットフォーム」を提供



■ 今後は銀行以外の金融機関や決済事業者へも拡大

今期の注力領域



< サービス導入検討先 (※) > (※) サービス先行利用先も含む



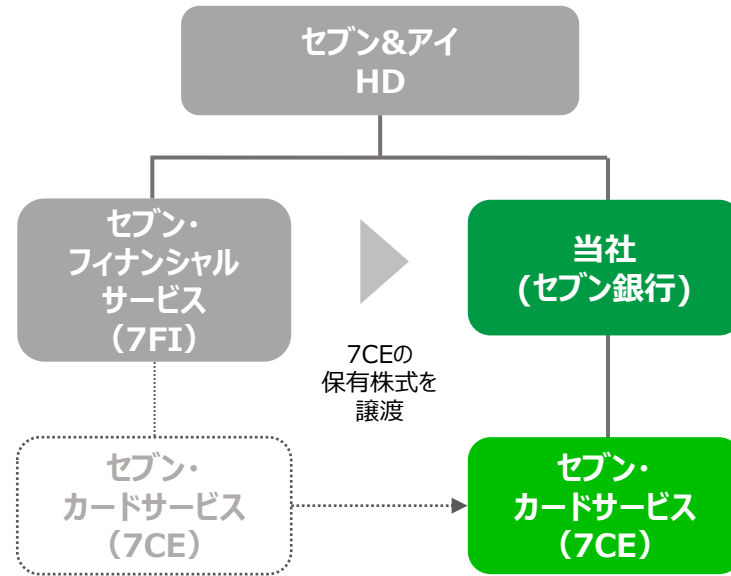
成長戦略

セブン・カードサービスの株式取得および 連結子会社化

金融戦略に係る

意思決定体制の一本化を図るため
セブン・カードサービスの株式を取得し、
連結子会社化

7FIが保有する7CE株式を当社が 取得し連結子会社化



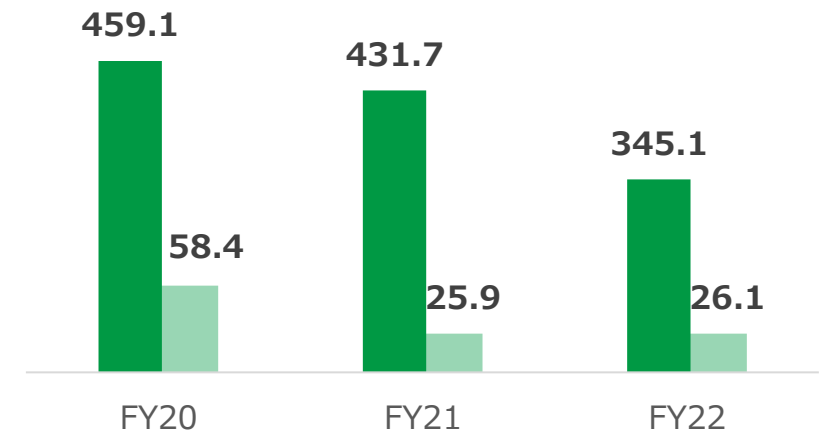
取得価格	約320億円
契約締結日	2023年4月6日
実行日	2023年7月1日（予定）

セブン・カードサービスの概要

株式会社セブン・カードサービス

本社所在地	東京都千代田区二番町
代表者	代表取締役社長 水落辰也
事業内容	クレジットカード事業、電子マネー事業
設立	2001年10月（営業開始は2002年2月）
資本金	75億円
従業員数	350人（2023年2月末時点）

営業収益と営業利益の推移（単位：億円）



※2022年度の営業収益は新収益認識基準を適用

両社およびセブン&アイグループの強みを生かし、小売×金融一体型の新しい顧客体験を提供し、成長を目指す

セブン銀行の強み

ATMを通じた多様なサービス

ATM設置台数（国内）

26,913台

ATM総利用件数※

9.8億件

提携金融機関数

640社

銀行免許の持つ信用力

預金口座数（個人）

275万口座

普通預金残高

5,756億円

2023年3月末時点

セブン・カードサービスの強み

クレジット事業の信用力

クレジット会員数

361万人

ショッピング取扱高※

8,333億円

nanacoの持つブランド力

nanaco会員数

7,907万人

nanaco取扱高※

1.9兆円

nanaco加盟店数

100万店

2023年2月末時点



セブン&アイグループの強み

国内随一の顧客基盤

7iD会員数

2,800万人

圧倒的な決済ボリューム

金流※

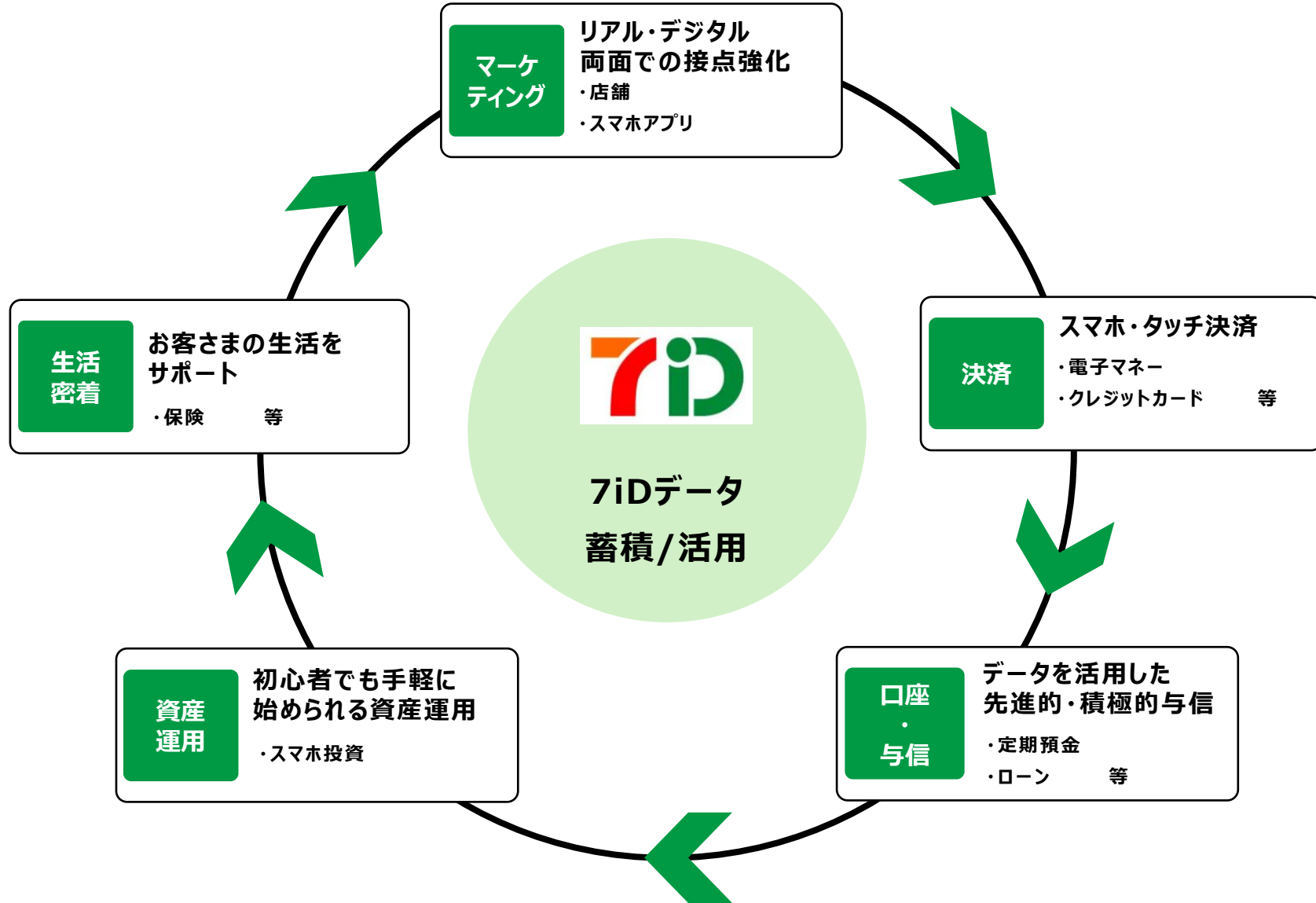
約**22**兆円

独自の経済圏

グループ店舗数

約**22,000**店舗

7iDを活用し、シナジー効果の最大化を目指す



2025年度目標値
【2022年度末比】

預金口座数
500万口座
【+230万口座】

ローン残高
800億円
【+450億円】

カード有効会員数
700万人
【+340万人】

キャッシング残高
300億円
【+200億円】

(注) 増減に係る数値は概算

社会課題解決への貢献
トピックス

5つの重点課題を
セブン銀行の事業活動として、
全社的に推進

5つの重点課題

1. 安心・安全な決済インフラの提供



2. 新しい金融サービスを通じた生活創造



3. 誰もが活躍できる社会づくり



4. 環境負荷の低減



5. 多文化共生の実現



主な進捗（トピックス）

セキュリティ対策の推進

・ACSiONのフィッシング対策サービス導入企業増(40社)、
本人確認事業（proost）の導入先拡大

ATMの新たな価値創造

・2022年度 ATMによる募金総額 約2,500万円
（災害募金、チャリティー募金など）
・マイナポイントやマイナポータル連携

人的資本への対応

・人権方針の明確化
・女性活躍推進の強化（女性管理職比率19.1%）
・管理職メンタルヘルス(ラインケア)研修実施
・コミュニケーション研修・階層別研修実施

気候変動への対応

・TCFDシナリオ分析開示対応
・データセンターおよび本店の再生エネルギー導入
・Type 4 ATM入替 累計13,419台入替済
・役員・社員によるATMリサイクル現場研修会
・社員による環境保全活動

居住外国人向けサービスの拡充

・居住外国人向け保険を提供する
株式会社ビバビーダメディカルライフの子会社化

企業変革 (CX)
トピックス

DX(Digital Transformation) と
EX(Employee Experience)を
掛け合わせた企業変革

企業変革

人材・組織・企業文化



ビジネスモデル・
ビジネスプロセス



主な進捗 (トピックス)

意識改革・人財育成

- 全社的にイノベーションマインドの醸成を図る「7BankAcademia」の活動を継続&拡大
- 「データサイエンスプログラム」実施によるデータスキル習得層の拡大
- Web3.0等新技術のビジネス実装プロジェクトを始動
- EX10制度をスタート 業務の10%をイノベーション活動へ

エンゲージメントの向上

- 会社への貢献意欲、働きがい促進のため「人間関係」の質向上施策を多数実施。エンゲージメントスコア上昇。
- パーパスアワードの開催

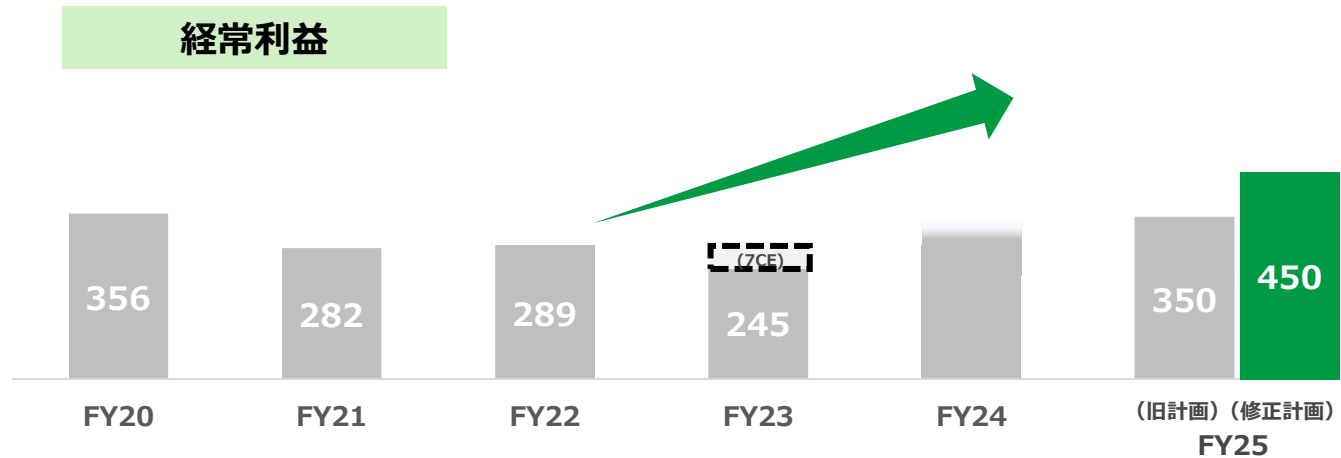
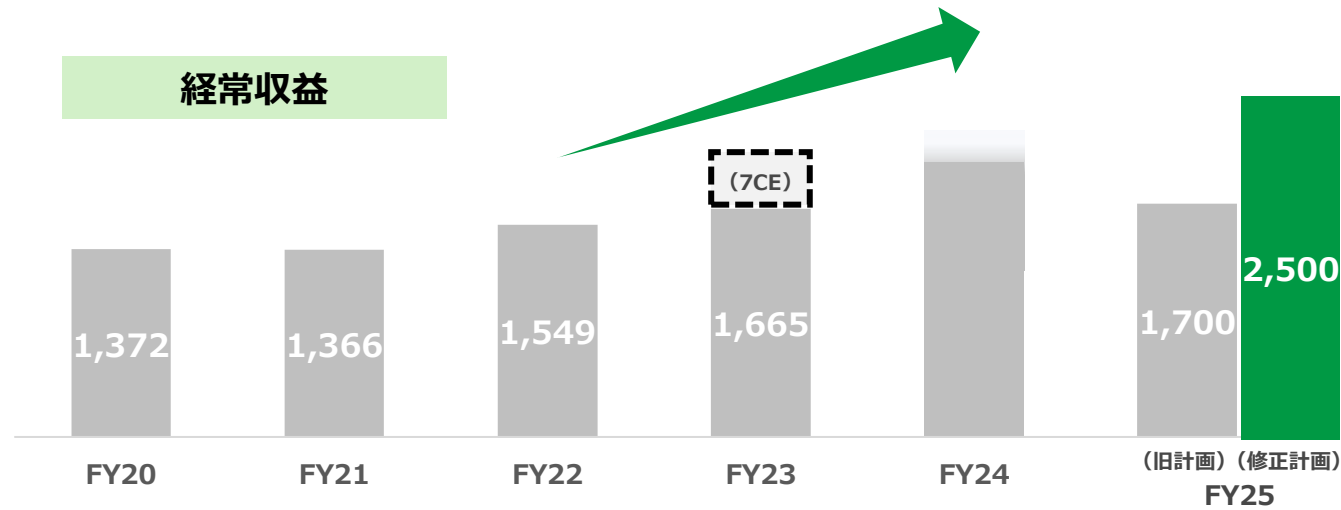
生産性向上

- DMO (Date Management Office) 主導によるAI・データ活用の社内啓蒙
- RPAの業務対象の拡大と本番稼働に向けた取組み

ビジネスの創出

- 第6回アクセラレータープログラム開始、オープンイノベーションによる新規事業開発を推進
- セブン・ラボ活動やセブン-イレブン初のアクセラレータープログラムの支援

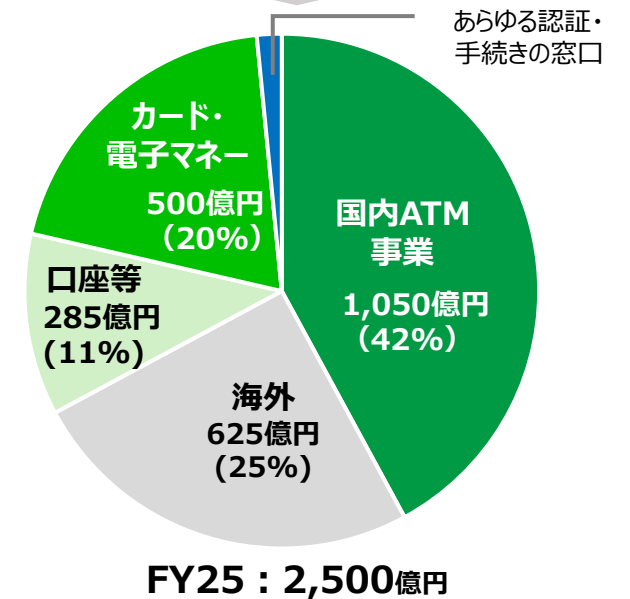
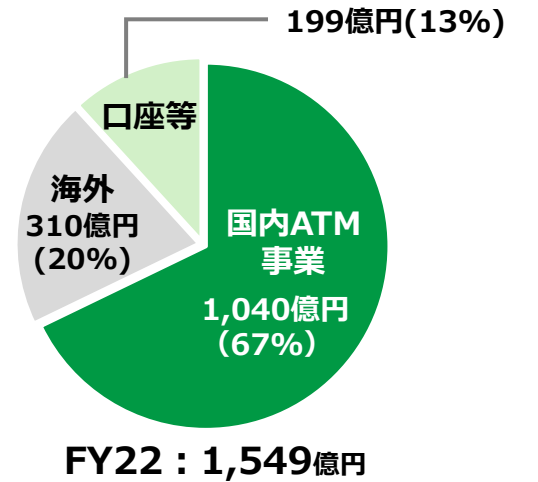
財務目標のアップデート (単位：億円)



(注) 7CEはセブン・カードサービスの略称

ROE 8%以上、配当性向40%以上

事業ポートフォリオの推移イメージ
(経常収益に占める各事業の比率)



AGENDA

05

APPENDIX

APPENDIX

損益計算書【連結】

(単位：億円)

	2022年 3月期	計画	2023年 3月期	前年差異	2024年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,366	1,490	1,549	183	1,665	116	805	67
経常費用	1,084	1,210	1,260	176	1,420	160	685	92
経常利益	282	280	289	7	245	▲44	120	▲25
特別損益	▲11	0	▲15	▲4	0	11	0	1
親会社株主に帰属する 当期純利益	208	195	188	▲20	165	▲23	80	▲17

(参考) 持分法投資損益

▲6億円

-

通期計画

▲6億円

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 連結損益の為替レート

1米ドル 2022年3月期実績 109.90円、2023年3月期期初計画 114.00円（期中に131.00円に変更）、2023年3月期実績 131.62円、2024年3月期計画 131.00円

(単位：億円)

APPENDIX

損益計算書【セブン銀行単体】

	2022年 3月期	計画	2023年 3月期	前年差異	2024年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,102	1,165	1,205	103	1,230	25	605	19
うちATM受入手数料	971	1,018	1,040	69	1,060	20	525	13
経常費用	818	890	890	72	970	80	470	37
うち資金調達費用	5	5	4	▲1	3	▲1	1	1
うちATM設置支払手数料	165	172	172	7	180	8	90	5
うち業務委託費	217	231	224	7	255	31	120	9
うち保守管理費	39	41	36	▲3	42	6	20	2
うち減価償却費	149	174	168	19	200	32	98	16
経常利益	284	275	315	31	260	▲55	135	▲17
特別損益	▲17	0	▲22	▲5	0	▲22	0	4
法人税等合計	85	85	97	12	80	▲19	40	▲7
当期純利益	181	190	195	14	180	▲15	95	▲5
EBITDA	433	450	483	50	460	▲23	232	▲2
期末ATM設置台数 (台)	26,253	26,953	26,913	660	27,598	685	27,148	623
ATM受入手数料単価 (円)	108.8	109.5	108.3	▲0.5	107.7	▲0.6	109.2	0.2
平均利用件数 (件/台/日)	96.5	97.7	101.5	5.0	101.2	▲0.3	99.1	▲0.6
総利用件数 (百万件)	910	948	980	70	1,005	25	489	10

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

(単位：百万米\$)

APPENDIX

損益計算書【FCTI単体】

	2021年 12月期	計画	2022年 12月期	前年差異	2023年12月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	206.3	204.6	186.3	▲20.0	204.3	18.0	98.3	6.2
経常費用	189.9	191.1	189.6	▲0.3	207.3	17.7	102.2	11.3
うち資金調達費用	14.7	21.9	29.4	14.7	40.6	11.2	20.4	11.6
うちATM設置支払手数料	107.4	106.2	100.1	▲7.3	93.8	▲6.3	46.2	▲4.7
うち業務委託費	13.7	12.3	12.2	▲1.5	16.4	4.2	8.2	1.8
うち保守管理費	13.3	14.6	15.9	2.6	14.9	▲1.0	7.4	▲0.3
うち減価償却費	6.3	6.8	6.6	0.3	5.8	▲0.8	2.9	▲0.3
経常利益	16.4	13.4	▲3.3	▲19.7	▲2.9	0.4	▲3.9	▲5.0
特別損益	0	0	0	0	0	0	0	0
当期純利益	35.9	12.2	0.0	▲35.9	▲3.0	▲3.0	▲4.0	▲4.9
EBITDA	22.7	18.8	3.2	▲19.5	2.8	▲0.4	▲1.0	▲5.4
期末ATM設置台数 (台)	9,004	8,818	8,643	▲361	8,765	122	8,744	48
うちSEI設置台数 (台)	8,688	8,818	8,643	▲45	8,765	122	8,744	48
平均利用件数 (件/台/日)	52.9	54.8	50.3	▲2.6	50.2	▲0.1	49.5	▲1.7
うちSEI設置	55.8	54.8	50.3	▲5.5	50.2	▲0.1	49.5	▲1.7
総利用件数 (百万件)	177.8	175.4	159.7	▲18.1	160.3	0.6	78.2	▲0.4

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

APPENDIX

損益計算書【主要子会社】

(単位：百万円)

 セブン銀行の100%子会社 バンク・ビジネスファクトリー	2022年 3月期	2023年 3月期		2024年3月期 計画				
		計画	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異	
経常収益	2,423	2,700	3,162	739	3,590	428	1,558	221
経常費用	2,384	2,500	3,366	982	3,510	144	1,697	191
経常利益	39	200	▲142	▲181	80	284	▲139	30
外部からの受託社数（社）	32	40	35	3	38	3	-	-

(単位：百万円)

株式会社 セブン・ペイメントサービス セブン銀行100%子会社	2022年 3月期	2023年 3月期		2024年3月期 計画				
		計画	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異	
経常収益	447	599	546	99	717	171	322	79
経常費用	338	597	443	105	608	165	289	85
経常利益	108	2	103	▲5	109	6	33	▲5
サービス契約社数（社）	570	-	700	130	-	-	-	-


注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て


注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

APPENDIX

損益計算書【主要子会社】

(単位：百万円)

 PT. Abadi Tambah Mulia Internasional	2021年 12月期	2022年		2023年12月期 計画				
		計画	12月期	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,524	3,894	4,255	2,731	8,069	3,814	3,489	1,783
経常費用	1,190	3,433	3,538	2,348	6,711	3,173	3,007	1,644
経常利益	333	461	716	383	1,358	642	482	139
ATM台数 (台)	2,551	5,500	5,557	3,006	8,550	2,993	-	-

 Platform, Inc.	2021年 12月期	2022年		2023年12月期 計画				
		計画	12月期	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	493	2,981	2,549	2,056	4,501	1,952	1,881	1,002
経常費用	787	3,232	3,097	2,310	5,390	2,293	2,401	1,502
経常利益	▲294	▲251	▲548	▲254	▲889	▲341	▲520	▲500
ATM台数 (台)	1,249	3,050	2,324	1,075	3,016	692	-	-

注1) 為替レート

100インドネシアルピア 2021年12月期累計実績=0.768円、2022年12月期計画=0.751円、2022年12月期実績=0.885円、2023年12月期計画=0.950円
 17イリピンペソ 2021年12月期累計実績=2.229円、2022年12月期計画=2.300円、2022年12月期実績=2.409円、2023年12月期計画=2.300円

注2) PAPIの2021年12月期は2021年2月～12月の実績

注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその連結子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。